

平成28年度狩野川水防災協議会 開催概要

【目的】

今後の気象変動により発生頻度が高まると予想される施設能力を上回るような洪水に対応することを目的に、狩野川流域の沿川7市町等の関係機関による狩野川水防災協議会を設立し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するため、「**住民の防災意識の向上**」、「**避難行動の確実化**」、「**社会経済被害の最小化**」を目標とした減災の取り組み方針を取りまとめた。

【開催概要】

日時：平成28年5月27日(金) 10:00～12:00

会場：プラサ ヴェルデ コンベンションホールA

出席：沼津市長、三島市副市長、伊豆の国市長、伊豆市長、富士市建設部長、清水町長、函南町長、長泉町長、静岡県沼津土木事務所長、静岡県東部危機管理局長、静岡県富士土木事務所長、静岡県田子の浦港管理事務所長、静岡地方気象台長、沼津河川国道事務所長

議事：①「水防災意識社会再構築ビジョン」について、②狩野川水防災協議会規約(案)について、③「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく狩野川流域の取組方針(案)について ④意見交換

第1回協議会開催状況



■ 目標達成に向けた3本柱と概ね5年で実施する取組(代表的な取組)

1. 狩野川台風による水害の記憶を未来へ伝承するとともに、地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取り組み

- 小中学校等における防災・河川環境教育の実施
- 狩野川放水路の役割について、地域住民の理解を深める活動の推進

2. 避難行動の確実化に向けた迅速かつ的確な情報提供を行うための取り組み

- 想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図やハザードマップの策定・周知
- 避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定。
- 水害対応チェックリストの作成

3. 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取り組み

- 毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施
- 毎年、水防団や地域住民が参加し、水害リスクの高い箇所での共同点検を実施
- 氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した狩野川排水計画を作成
- 優先的に対策が必要な河道掘削などの洪水を安全に流すためのハード対策及び天端舗装などの危機管理ハード対策の実施

■ 取組スケジュール

- ◎準備会(幹事会):平成28年4月21日
 - 各主体の取組についてのとりまとめ
 - 取組方針(案)を作成



- ◎第1回協議会:平成28年5月27日
 - 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく狩野川流域の取組方針の決定
 - 意見交換
 - ・狩野川台風の経験と教訓
 - ・避難行動における課題と取り組み



- ◎協議会・幹事会:平成29年以降 出水期前
 - 毎年の取組のフォローアップ